

2020年 11月 7日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第7戦 決勝上位コメント

■ 第7戦 決勝1位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「ポール・トゥ・ウィン、完璧なレースをすることができて気分は最高です。スタートをうまく決めてトップを守って走り始めましたが、2度もセーフティカーが入ってきました。リスタートに向けて自分自身に『落ち着け!』と言い聞かせて、2回とも冷静にリスタートを切ることができました。後方には平木選手（#62 HELM MOTORSPORTS F110）がピッタリつけて来ていたのでワンミスで抜かれる状況でしたが、集中力を途切れさせることなく、そのまま逃げ切ることができました。テクニックだけでなく精神力でもトップを守ることができ、（今大会の）3連勝を目指す上で大きな自信を得ることができました」

■ 第7戦 決勝2位 平木玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「スタート直後の混乱があり、セーフティカーが2回も入る荒れたレースになってしまいました。セーフティカーが入るたびにトップに追いついて、レースは後半勝負と思っていましたが、タイヤを冷やしてしまったこともあり、また平良選手（#35 TGR-DC RS トムススピリット F4）もミスはせず、攻めあぐねているうちに抜く決め手を欠いてしまいました。地元のレースだっただけに、とても悔しいですね。午後に行われる第8戦に向けクルマのセットアップと自分自身のドライビングを見直し、優勝できるようがんばります」

■ 第7戦 決勝3位 野中誠太【#36 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「公式予選ではクルマにトラブルがあり、後方のグリッド（8番手）からのスタートになりました。後方から順位を上げていく展開になりましたが、レースペースでは負けてなくて、毎回、追いつけてきているので、特に心配はしていませんでした。レースは、2度もセーフティカーが入る荒れた展開になりましたが、逆に、これは自分にとってはチャンスだと思うことにしました。そしてレース中は、後ろを全く気にすることなく、ただ前を行くクルマをパスすることだけ考えて走り、1台、また1台と抜いてきて表彰台に上ることができました。午後のレースも後方からのスタートですが、また表彰台まで追いつけていきます」

■ 第7戦 インディペンデントカップ 1位 佐藤セルゲイビッチ 【#3 結婚の学校 フィールドモータースポーツ】



「今日は予選で失敗してしまいました。位置取りがまずくて、ちゃんとアタックできず、クラス7番手からのスタートになってしまいました。それでも決勝になったら自分のペースは悪くないという自信があって『どこまで上げて来られるだろうか』とスタートしました。そうしたら良いスタートが切れたことに加えて直後の混乱を上手く切り抜けたことで2番手まで進出できました。あとは冷静に前を行く仲尾選手（No.2 TCS Racing Team）をどこで仕掛けようかと考え、ミスを突いてトップに立てました。3連勝を目指して（今大会の）残り2レースもがんばります」